

# 会 報

東北大学教育学部同窓会仙台支部

## 国体と私と

東北工大名誉教授

伊藤 孝夫 (25年入学)

この拙文が皆さんの目にふれる頃は!!新世紀みやぎ国体!!夏季大会も終り、秋季大会に向けて全県あげて全国からやってくる選手、役員の皆様の歓迎ムードがピークに達する頃になるのでしょうか。

国体は敗戦の翌年、21年、我々世代が実体験した食糧難のドン底からのスタートでした。

25年入学の頃は27年、7回国体(山形、福島、宮城3県開催)に向け、競技場建設がなされていた時期で、我々体専仲間は宮城野原陸上競技場新設作業のドカチンのバイトでお揃いのトレーナを新調したことが忘れられません。7回国体ではサッカー競技の審判補助員としての参加でした。

29年卒業の年、9回国体(北海道)は教員チーム(3位)生徒(宮工高5位)のアベック出場でサッカー競技総合1位、以後東京オリンピックの39年、新潟国体で10回出場選手(この間3位2回、優勝1回、アベック出場3回)の表彰をうけ、40年工大への転任を機に選手生活は終わりました。

45年(25回、岩手)から56年、工大学生部長就任までは1級審判員としての参加でした。

県体協強化委員長、宮城県選手団役員として初めて参加した61年(41回、山形)では全国41位という惨敗を味わい奮起、強化委員長として、競技力向上のための一貫指導体制(小、中、高、成人)による選手強化年次計画の確立、指導者マップの作成と活用、強化費の明確な配分基準の設定と透明性の確立などを実施、傘下競技団体の積極的な強化策とあいまって年々着実に強化実績が向上、昨年の55回(富山)では県体協始まって以来の天

皇杯総合6位を獲得したところで、今年3月県体協定年制(70才)で現役引退。4月からは仙台市で開催される11競技(バスケット、体操など)の競技委員長として競技運営を支えながら、!!新世紀みやぎ国体!! 天皇杯、皇后杯総合優勝の栄冠獲得を心待ちしているこの頃です。

## 第 22 回

### 同窓会仙台支部総会のご案内

初秋の候、同窓生各位にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、下記により仙台支部総会を開催いたします。今年度も、五橋会館で開催いたします。

ご多用の折とは存じますが、皆様お誘い合わせの上、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

#### 記

1. 日 時 平成13年11月17日(土)  
午後3時～7時
2. 会 場 五橋会館(227-1515)  
(青葉区五橋1丁目5-3)
3. 内 容  
(1)仙台支部総会 15:00～15:30(14:30受付開始)  
(2)講 演 15:45～16:45  
講 師 東北大学大学院教育学研究科  
川村 秀忠 教授  
(人間発達臨床科学講座発達障害分野専攻)  
演 題「学習障害児の学習意欲を支援する方略」  
(3)懇 親 会 17:00～19:00
4. 会 費 5,000円当日受付にて申し受けます。
5. 申込み 同封のはがきでお願いします。
6. 締切日 11月3日(土) 取消は11月10日(土)迄に  
※ 総会当日直前にキャンセルの場合は、会費のご負担をお願い致します。

## 旅から、あれ、これ

鈴木 孝子(26年入学)

エジプト 到着早々のカルチャーショック。それは、ホテル入口で赤外線検知機をくぐらせられたこと。後日訪れた博物館でもしかり。

カイロの大通りは、片側五車線ぐらいたが、分離帯は一本も無し。市内で私が目にした信号機は一箇所のみ。そこを車がびっしり並んで走っている。駐車場は、碁盤の上の碁石のようにすき間なく車が並んでいる。中央に駐車した車は、どうやって出て行くのかと思って、いらぬ心配をしていると、運転手が何人かの共同作業でうまい工合に出て行く。あの国の運転手の技術は世界一ではないだろうか。と思って見ていた。

バザールに行く。とてもにぎやか。あちこちから声がかかる。エジプトの青年は、とても明るく人なつこく元気である。

家族と友人(女性)で、宝石店をのぞいていたときのこと、娘に「どちらが第一夫人?、二人に同じものを買ってあげるようにお父さんに言って。」と、言っている。とに角、私達の日常とかげ離れていて面白い。

ローマ 大変な失敗をした。バスに無賃乗車をしてしまったのである。タクシーを利用する予定だったが、通常5.6倍の料金を前金で請求された。不愉快なのでバスに乗ることにした。

近くの店の人にバスの番号を聞いた。聞き終わるやいなやバスが見えたので、あわてて乗ってしまった。乗ってから切符を買ってないのに気がついた。前もって購入しておかなければならないのに事前勉強は役に立たなかった。

ドライバー氏に、料金を尋ねても「いらない。」と言う。そして、ホテルの近くの停留所で降ろしてくれ道順まで教えてくれた。チップを渡そうとしたが受取ってくれない。困ってしまったが好意にあまえるほかない。添乗員氏いわく「ローマに来てスリにやられる人は多いが、儲けた人は他にいないだろう。」と話のたねにされてしまった。

## 出会いと健康

伊藤 昭(35年入学)

私は、昭和39年3月卒業である。以来十有余年、毎年末に泉豊氏と共に在仙者を中心にしてささやかな同期会を開催していた。そんな時、昭和54年の教育学部同窓会設立に際して、大津芳穂氏より昭和35年度理事就任の依頼を受けて、泉君と私とでお世話役を続けてきた。スタート始めは私たちの年度会員数は他の年度と比べて少なくさびしいものだったが、泉豊氏の掘り起こしと呼び掛けの労の甲斐あって、会員数が年々増えていった。ある役員会の席で、突然關口隆氏から事務局長の役を引き継ぐことになった。關口隆氏には6年間にわたって誠心誠意役を果たしていただいたが、体調が……。かくて、大浪榮一氏たちといっしょに仕事を進めることになった。

同窓会の事務局のお世話を通して、沢山の方々知り合いになったことは私の大きな財産になっている。偉大な先輩諸氏、気心の会う同期生、そして、今後の推進役になる後輩にあたる方々。菊池康雄氏には、妻、娘もまた大変お世話になっている。奥さんが長町小学校在任中、妻は6年間にわたり温かいご指導を賜り、娘は1年生の時担任していただいた。その娘は、今僻地での小学校教員3年目を迎えている。

毎日朝4時過ぎには起きるのが、私の生活リズムである。現役の時は、起きてから読書をしたり学校の仕事をしたりして時間を活用してきた。

今年3月、37年間の教員生活に終止符を打ったのを機に、ウォーキングに励むことにした。教員時代には、子供・職員や保護者と共にそれなりの運動ができたのであるが、第2の職場に就いて運動不足を痛感したからである。まずお茶を何杯か飲んで体調を整える。そして、4時30分には腰に万歩計を付けて出掛ける。朝の新鮮な空気はおいしく、体中の血液がさらさら流れるのを感じる。

1時間以上歩くと、快い疲労感を覚える。今後も同窓会の方々との出会いを楽しみにしながら健康づくりにも精を出していこうと思っている。

## (前) 事務局だより

關口 隆(37年入学)

第1回東北大学教育学部同窓会仙台支部総会以来、何回か総会に参加していた。

多田支部長先生の時、年度理事として役員会に参加し、総会時、受付で名簿を配布したり会費をお預かりしたりする程度の仕事をしていました。

川崎町勤務時代は、役員会を欠席することもあったと思う。平成5年度、幸町南小学校に転勤すると、突然、東仙台小学校長で事務局長をしていた柘澤怜先生から同窓会仙台支部の手伝いを仰せつかり、文書綴りを預かることになった。

5年度の総会后、永野支部長先生の時から事務長の仕事を始めた。人の顔と名前を覚えるのが大の苦手な私は、自己紹介の折に伺った名前をプリントの周囲に必死にメモしたことは、今でも忘れられない。従って自己紹介後に参加された方は、なかなかお名前を覚えることができなかった。

平成6年第2回役員会の折に、「総会の案内状を発送するのに学校の封筒を使用するのは如何なものか」というご意見が年度理事の方から出され、また、市教委から「仙台市立小学校への案内状配布に市の文書箱使用禁止」等の指導もあり、総会の会費据え置きのままでの懇親会は、一人の会費6,000円のうち1,200円以上が講演謝礼や通信連絡費に当てられ、お酒の量も厳しいものになった。

2年目は、小野正義先生が事務長をされておられたときのフロッピーをコピーさせてもらい、会員名簿の整備に取り組んだ。年度理事の方々の全面的なご協力により、1,300名近くの方々がリストアップされ、7~8名の参加者の会費では到底まかないきれないことから、会員の皆さんから年会費をいただくことになった。予想以上のご協力により会報を発行することもできるようになった。

現在は、封筒の印刷も業者に注文することもできるそうだ。5年間、支部長さんはじめ支部役員の方々のご指導並びに各員各位のご協力により、何とか事務長の仕事をやり終えることが出来た。

## 同期会だより

五期会(昭和28年入学)

私たちの会は、昭和59年2月4日に発足。「28」から「双葉会」と命名した。以来、毎年9月末に、発足会を実施した勾当台会館で、義理堅く総会を継続し、本年度で16回目を迎える。県外会員を含め会員数は140名で、常時、35名前後の参加を得て開催している。

平成9年度、会員の命輝く姿や近況を広く紹介するため会報を創刊、今5号発行の準備中である。

役員会は、会長 伊達亮彦、副会長 永野昌一、馬上眞平、会計 内木邦子、橋本栄子、幹事長 小關幸生と14名の幹事で構成、会の運営に携わる。

記念すべき第10回と還暦が合致し、一泊で行った還暦を祝う会と記念誌発刊が思い出される。大先輩藤井市長の祝辞、橋浦先生はじめ恩師8名の玉稿、会員75名の力作、学生時代の多数の写真・資料・スケッチ満載P128の還暦記念誌「ふたば」は、我々会員最高の宝物である。(文責 古澤良一)

六期会(昭和29年入学)

### 減るとも増えない

第六回生は、昭和29年4月入学、33年3月卒業の仲間である。ところが、同期会の集いには入学年度や卒業年度が40年も経つとごちゃ混ぜの感がある。特に卒業年度がはなはだしい。

現在、名簿の作成中だが、入学は一緒だが卒業は違う、卒業は同じだが入学年度が違うという場面にぶつかっている。いろいろ検討した結果当時大学制度の中にあつた二年課程が混乱の原因とわかった。以後名簿は33年3月卒業を基準とすることにした。

同期生の中には教員にならなかった人もいるが、今ふり返ってみると、良い時代に勤務し、良いときに退職したと思っている。今の教育界を見るにつけ、

減ることはあつても増えることのない同期会を大切にしたい。(文責 青木寛敏)

# 仙台支部役員名簿

(平成11. 12~平成13. 11)

## 事務局だより

顧問	藤井 黎	24三浦 修一
	25多田 滋	25佐々木一洋
	28永野 昌一	
支部長	31雪江 美久	
副支部長	31柘澤 怜	32佐々木亀三男
	33佐藤 健仁	
参与	24岩淵昌次郎	24富塚 英雄
	24志村 元一	29石森 幸子
理事	24小野 春夫	川井 善夫
	丸谷慶二郎	
	25高橋 公正	菊池 康雄
	静田 一	
	26三橋 亮一	池田 和夫
	27岡崎 忠	青木 敏浩
	28小關 幸生	古澤 良一
	29青木 寛敏	星 博
	30小野 正義	小畑 博之
	31楨 要照	今野 健
	菅原 教雄	
	32久保田 明	砂金 信男
	33長田かつよ	金岡 昭房
	34菱沼安太郎	一条 紀久
	35泉 豊	岡本 幸子
	36正木 競	阿部 琢也
	浅野 信廣	
	37菊田 泰丸	小倉 英樹
	關口 隆	
	38熊谷 洋	櫻井 正幸
	39牛田 和夫	五十嵐楯夫
	41安住 裕	50別府 成裕
	52白澤 利広	57川上 芳夫
監事	25佐藤 寿郎	宮腰 英一
大学関係理事	渡部 信一	
理事事務局	35伊藤 昭	38佐藤 誠
	39大浪 榮一	
事務会計	34大庭 数江	37千葉 雅修
	39郡山 慶子	

会員の皆様には、日ごろ多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

下記の委員会を構成し、それぞれ活動を展開しております。

### 会則検討委員会

委員長 31柘澤 怜 副委員長 31今野 健  
25静田 一 28古澤 良一 34一条 紀久  
36阿部 琢也 37菊田 泰丸

### 名簿作成委員会

委員長 30小野 正義 副委員長 31菅原 教雄  
25高橋 公正 29青木 寛敏 33金岡 昭房  
35泉 豊 38熊谷 洋

### 会報発行委員会

委員長 25菊池 康雄 副委員長 32佐々木亀三男  
26池田 和夫 27青木 敏浩 32久保田 明  
34菱沼安太郎 39牛田 和男

### 会計委員会

委員長 29石森 幸子 副委員長 34大庭 数江  
36正木 競 37千葉 雅修 39郡山 慶子

○会報5号をお届けいたします。ご多用の中、ご執筆いただきました先生方に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

○本号から読み易くするため、A版にいたしました。皆様方からの御意見、御希望等下記事務局(連絡先)にお寄せいただければ幸いと存じます。

事務局(連絡先)

〒982-0214 仙台市太白区山田本町20-10

伊藤 昭 TEL244-1830

(連絡先)

幸町南小学校 佐藤 誠 TEL792-9133

燕沢小学校 大浪榮一 TEL251-3595